

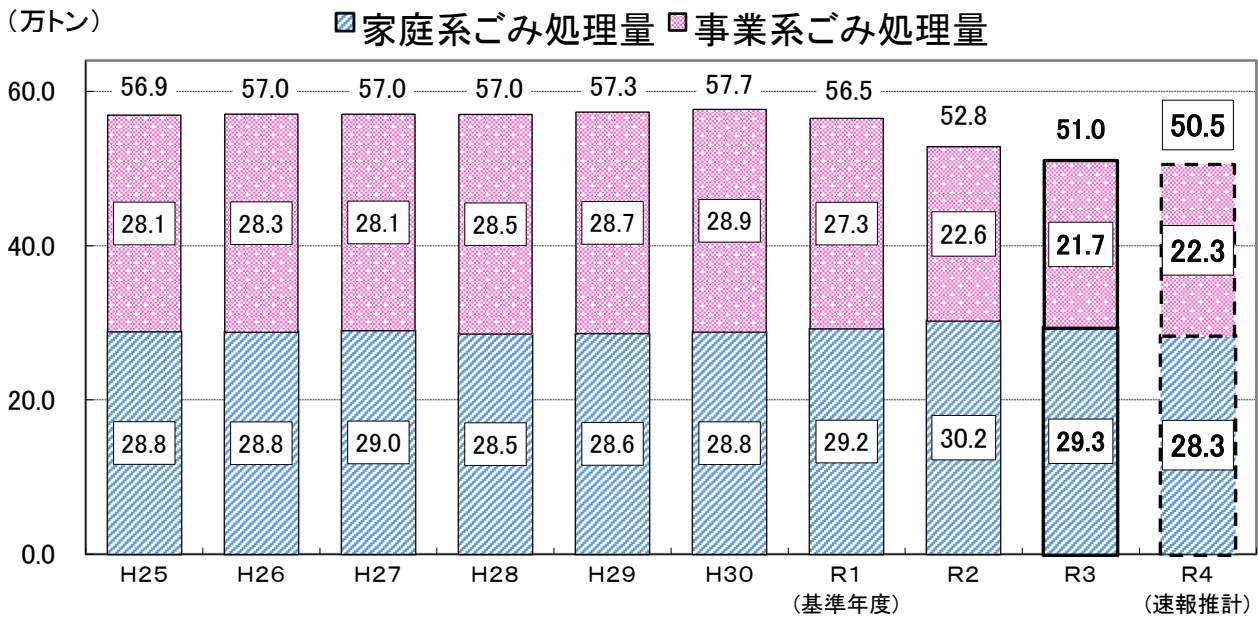
令和 5 年 度 予算案に係る参考資料

| | 頁 |
|--------------------------|---|
| 主な指標及び補足事項 | |
| 1 ごみの処理量の推移 | 1 |
| 2 市有施設における再生可能エネルギーの導入状況 | 2 |
| 3 工場運営費 | 3 |
| 4 環境市民ファンドの概要 | 4 |
| 5 事業系ごみ資源化推進ファンドの概要 | 5 |
| 6 補助金等の予算一覧及び当初予算額の推移 | 6 |
| 参考 当初予算案の概要 | 7 |

環 境 局

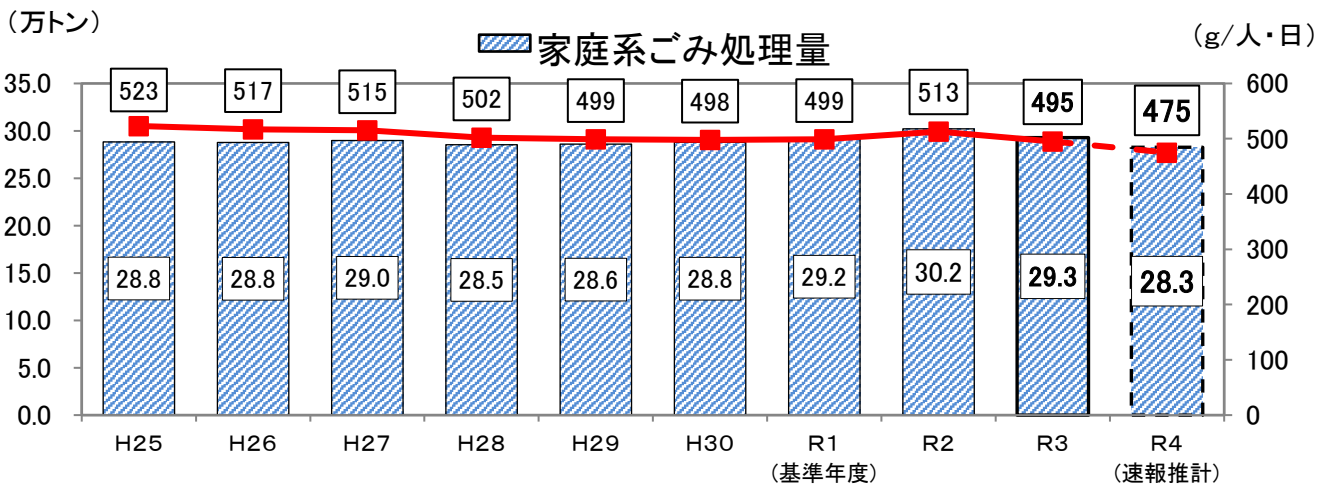
1 ごみの処理量の推移

(1) ごみ処理量について



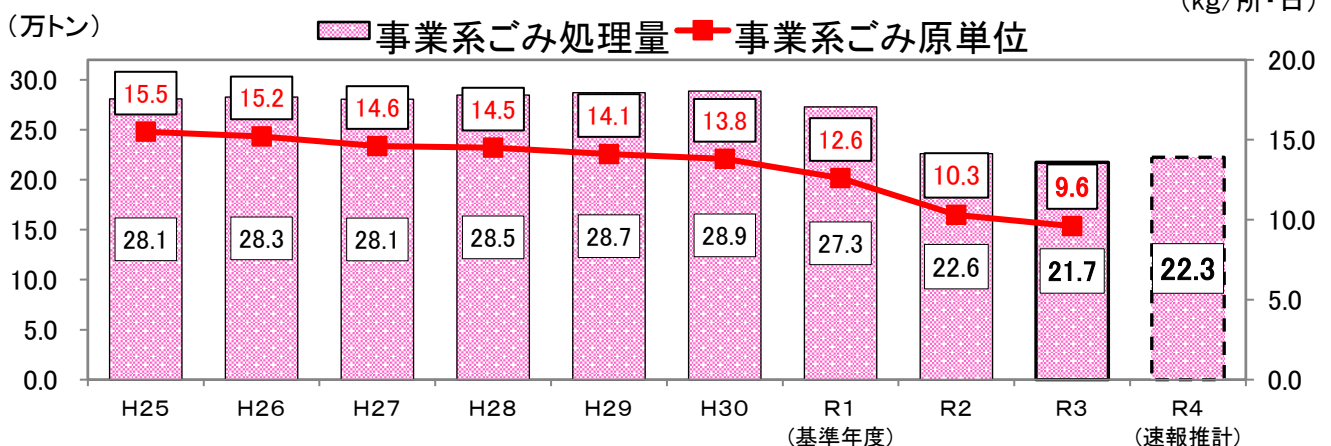
※速報推計は令和4年度の4月から12月までの実績量と、令和3年度の1月から3月の実績に令和4年度4月から12月の実績量の前年度比増減率を乗じた量から算出した。

(2) 市民1人1日あたりの家庭系ごみ処理量(家庭系ごみ原単位)



※令和2年国勢調査確報値の公表に伴い人口が修正されたため、平成28年度から令和元年度までの家庭ごみ原単位を遡って再計算しており、循環のまち・ふくおか推進プランに掲載の数値と異なる。

(3) 1事業所1日あたりの事業系ごみ処理量(事業系ごみ原単位)



※事業系ごみ原単位の令和4年度の速報推計については、令和4年度の事業所数(法人市民税における課税事業所数)が現時点では公表されていないため、速報推計の算出をしていない。

2 市有施設における再生可能エネルギーの導入状況

令和5年度の導入予定（新規）

| 種別 | | 施設数 | 発電出力 | 備考 |
|-------|-----|-----|-------|---|
| 太陽光発電 | その他 | 14 | 653kW | ・アイランドシティ新設小学校 ・春住小学校 ・クリーンパーク・東部 ・油山牧場 ・西都地区新設校区公民館・ 老人いこいの家 ・市営弥永住宅集会所（試行設置） ・多々良浄水場(※)・多々良取水場(※) ・和白水処理センター(※) ・新西部水処理センター(※) ・博多消防署(※)・中央消防署(※) ・東消防署 多々良出張所(※) ・早良消防署 田隈出張所(※) |
| 小水力発電 | | 1 | 50kW | ・別所接合并(※) |
| 合計 | | 15 | 703kW | |

※ PPA方式等により導入予定で、発電出力は事業者提案による想定値

<参考> 令和4年度末見込

() 内は前年度比

| 種別 | | 施設数 | 発電出力 | 備考 |
|---------|--------|---------------|-----------------------|--|
| 太陽光発電 | メガソーラー | 6 | 6,519kW | ・大原メガソーラー発電所 ・蒲田メガソーラー発電所 ・青果市場太陽光発電所 ・西部水処理センター太陽光発電所 ・新西部水処理センター太陽光発電所 ・蒲田第2メガソーラー発電所 |
| | その他 | 197 (+4) | 2,651kW (+52kW) | ・公民館 ・小中学校 等 |
| バイオマス発電 | 廃棄物発電 | 4 | 80,900kW | ・清掃工場 [東部、西部、臨海、福岡都市圏南部] |
| | その他 | 2 | 2,099kW | ・水処理センター[中部、和白] |
| 小水力発電 | | 3 | 222kW | ・浄水場[瑞梅寺、乙金] ・曲淵ダム |
| 合計 | | 212 (+4) | 92,391kW (+52kW) | 屋根貸し等による事業者設置を含む |

令和4年度導入施設

太陽光発電：西都北小学校、地下鉄榎田神社前駅、飯倉中央公民館・老人いこいの家、市営下山門住宅

3 工場運営費

工場運営費は、令和5年度の各工場運営に直接必要とする経費であり、施設の減価償却費等は含まない。

| 区分 | 福岡市 | | | (株)福岡 グリーンエナジー 東部工場 | 福岡都市圏南部 環境事業組合 福岡都市圏 南部工場 |
|--------------------------------|----------------|-----------------|------------------|---------------------------|------------------------------------|
| | 西部工場 | 臨海工場 | 2工場平均 | | |
| 運営方式 | 直営 | 直営 | | PFI的手法 | DBO方式 |
| 施設概要 | 施設規模 (トン/日) | 750トン (3炉) | 900トン (3炉) | 900トン (3炉) | 510トン (3炉) |
| | 稼働開始 (経過年数) | 平成4年4月 (31年) | 平成13年4月 (22年) | 平成17年8月 (17年) | 平成28年4月 (7年) |
| | 発電定格能力 (kW) | 10,000 | 25,000 | 29,200 | 16,700 |
| [A] 処理予定量 (トン) | 117,806 | 175,000 | 146,403 | 181,000 | 116,100 |
| [B] 工場運営費 (千円) | 2,098,370 | 2,054,336 | 2,076,353 | 2,258,036 | 738,522 |
| トン当たりの工場運営費 (円/トン) (B/A) | 17,812 | 11,739 | 14,182 | 12,475 | 6,361 |

[A]処理予定量：令和5年度ごみ処理計画に基づく処理予定量

[B]工場運営費：令和5年度焼却処理及び焼却灰運搬に直接必要となる経費
(工場人件費、委託料、光熱水費、薬品費、修繕料、他)

4 環境市民ファンドの概要

(1) 設置の目的

「環境市民ファンド」は、地域やボランティア団体など市民の環境保全に関する実践活動を支援するとともに、地域に根ざした環境保全活動を展開することにより、本市における環境の保全を図ることを目的とする。

(2) 設置年月日

平成17年4月1日(福岡市環境市民ファンド条例)

(3) 対象事業及び充当額

(単位:千円)

| | ファンド充当額 |
|-------------------------------|----------------|
| 1 3R(リデュース・リユース・リサイクル) | 557,884 |
| 3Rステーション事業 | 80,777 |
| 地域集団回収等報奨制度 | 198,557 |
| 使用済小型電子機器回収事業 | 1,669 |
| 家庭系食品ロス対策の推進 | 3,220 |
| プラスチックごみ発生抑制 | 695 |
| 生ごみリサイクル推進事業 | 6,192 |
| 蛍光管等の拠点回収事業 | 15,655 |
| 拠点での資源物回収事業 | 251,119 |
| 2 温室効果ガスの排出削減 | 353,725 |
| 緑のカーテン推進事業 | 1,775 |
| ECOチャレンジ応援事業等 | 13,713 |
| 次世代自動車の普及に向けた支援 | 65,144 |
| 住宅用エネルギーシステム導入支援事業 | 273,093 |
| 3 自然環境の保護(地域清掃を含む) | 70,614 |
| ラブアース・クリーンアップ事業 | 7,062 |
| 博多湾環境保全計画の推進 ※市民共働モニタリング調査 | 3,019 |
| 生物多様性ふくおか戦略の推進 | 14,223 |
| 地域ぐるみ清掃推進事業等 | 42,650 |
| 不法投棄対策 ※地域活動報奨金、地域活動支援 | 3,660 |
| 4 複合的な活動(上記3分野を含む) | 25,842 |
| 環境フェスティバル | 12,071 |
| 未来へつなげる環境活動支援事業 | 4,330 |
| 環境教育推進経費 ※環境学習支援促進 | 6,576 |
| 保健環境学習室事業 ※交流支援 | 2,865 |
| 合 計 | 1,008,065 |

(4) 積立額

(単位:千円)

| 区 分 | 積立額 | 摘 要 |
|---------|---------|-----|
| 寄 付 金 | 474 | |
| 一 般 財 源 | 888,659 | |
| 合 計 | 889,133 | |

(5) 基金の状況

(単位:千円)

| 令和4年度末 現在高(見込) | 令和5年度中 | | | 令和5年度末 現在高(見込) |
|-------------------|---------|-----------|-----------|-------------------|
| | 繰 入 | 繰 出 | 差引増減(△) | |
| 120,021 | 889,133 | 1,008,065 | △ 118,932 | 1,089 |

5 事業系ごみ資源化推進ファンドの概要

① 設置の目的

事業系ごみの資源化に向けた事業者の取組みを支援することにより、循環資源の更なる利用を促進し、循環型社会の形成に資することを目的に設置。

② 設置年月日

平成 23 年 10 月 1 日

(福岡市事業系ごみ資源化推進ファンド条例、設置期間は令和 8 年 3 月 31 日まで)

③ 対象事業及び充当額

| | | ファンド充当額 |
|-----|------------------------------|---------|
| 1 | 事業系ごみの減量・リサイクルに関する普及啓発事業 | 25,245 |
| | 事業所ごみ減量再資源化指導 | 8,903 |
| | 事業系ごみ資源回収推進事業 | 2,639 |
| | 事業系食品廃棄物3R 推進事業 | 13,703 |
| 2 | 事業系ごみの減量・リサイクルに取り組む事業者への支援事業 | 315,308 |
| | 事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業 | 14,038 |
| | 事業系一般廃棄物資源化施設の整備支援 | 301,270 |
| 3 | その他必要と認める事業 | 10,853 |
| | 事業系ごみの資源化調査 | 10,287 |
| | 事業系ごみ資源化推進ファンド運営委員会 | 566 |
| 合 計 | | 351,406 |

(単位: 千円)

④ 積立額

平成 30 年度末にて基金積立総額が 20 億円に達したため、令和元年度以降は寄附金及び基金の運用益金のみを積み立てるもの。

(単位: 千円)

| 区 分 | 積立額 | 摘 要 |
|---------|-------|--------------------|
| 寄 附 金 | 100 | |
| 運 用 益 金 | 7,418 | 事業系ごみ資源化推進ファンド利子収入 |
| 一 般 財 源 | - | |
| 合 計 | 7,518 | |

⑤ 基金の状況

(単位: 千円)

| 令和4年度末 現在高(見込) | 令和5年度中 | | | 令和5年度末 現在高(見込) |
|-------------------|--------|---------|----------|-------------------|
| | 繰 入 | 繰 出 | 差引増減(△) | |
| 1,090,906 | 7,518 | 351,406 | △343,888 | 747,018 |

(単位: 千円)

| | | 平成 23 年度～ 令和3年度 | 令和4年度(見込) | 令和5年度(予算) |
|-----------|-------|--------------------|-----------|-----------|
| 積 立 額 | 積 立 額 | - | 8,244 | 7,518 |
| | 累 計 | 2,022,520 | 2,030,764 | 2,038,282 |
| 処 分 額 累 計 | | 849,133 | 939,858 | 1,291,264 |
| 年 度 末 残 額 | | 1,173,387 | 1,090,906 | 747,018 |

6 補助金等の予算一覧及び当初予算額の推移

(1) 補助金等の予算一覧

補助金及び負担金のうち、市民・事業者に対する補助を行っているもの。

(単位：千円)

| 補助金の名称 | 交付先 | 令和5年度 予算額 | 令和4年度 予算額 | 対前年度 増減(△)額 |
|----------------------------------|-----------------|--------------|--------------|----------------|
| 事業系ごみ資源化技術 実証研究等支援事業補助金 | 事業者、大学等 | 14,000 | 14,000 | - |
| 一般廃棄物資源化施設 整備費補助金 | 事業者 | 300,000 | - | 300,000 |
| 生ごみ堆肥化容器 購入費補助金 | 市民 | 2,500 | - | 2,500 |
| 未来へつなげる 環境活動支援事業補助金 | 市民団体・ NPO法人等 | 3,164 | 3,040 | 124 |
| 事業所の省エネ設備 導入支援事業補助金 | 事業者 | 40,000 | - | 40,000 |
| 脱炭素建築物 誘導支援事業補助金 | 市民・事業者等 | 55,000 | - | 55,000 |
| 併用世帯ごみ収集事業補助金 | ごみ収集許可業者 | 3,480 | 3,660 | △ 180 |
| 福岡市地球温暖化対策 市民協議会負担金 | | 351,250 | 505,250 | △154,000 |
| 福岡市住宅用エネルギー システム導入支援事業 補助金 | 市民・住宅の 管理組合等 | 269,500 | 232,500 | 37,000 |
| 福岡市次世代自動車の 普及に向けた支援事業 補助金 | 市民・事業者等 | 73,750 | 38,750 | 35,000 |
| 事業所のPPAによる 再エネ設備導入支援事業 補助金 | 事業者 | 8,000 | - | 8,000 |
| 福岡市宅配ボックス 導入助成事業補助金 | 市民・事業者等 | - | 234,000 | △234,000 |
| 合計 | | 769,394 | 525,950 | 243,444 |

(2) 当初予算額の推移

環境局の過去5年間の当初予算額の推移は以下のとおり。

(単位：千円)

| 年度 | 当初予算額 | |
|--------|------------|------------|
| | 歳入 | 歳出 |
| 令和4年度 | 11,640,568 | 29,153,031 |
| 令和3年度 | 10,711,720 | 25,481,495 |
| 令和2年度 | 13,940,175 | 31,519,299 |
| 令和元年度 | 13,526,177 | 30,929,276 |
| 平成30年度 | 11,870,026 | 30,469,121 |

参考 当初予算案の概要

| | ページ |
|------------------------|-----|
| 01 令和5年度の予算案と重要施策…………… | 8 |
| 02 主な重要事業…………… | 9 |

01 令和5年度の予算案と重要施策

令和5年度の予算案及び福岡市環境基本計画（第三次）の施策体系に基づいた重要施策は以下のとおりです。

（1）令和5年度予算案総括表

（単位：千円）

| 区分 | 歳入 | 歳出 |
|------|------------|------------|
| 一般会計 | 12,030,695 | 31,231,074 |

（2）重要施策の体系と予算案

分野別施策

快適で良好な生活環境のまちづくり 126,201千円

| | |
|-------------------------|----------|
| ア 黄砂・PM2.5などの大気汚染物質への対応 | 66,317千円 |
| イ 良好な生活環境の保全 | 49,852千円 |
| ウ 気候変動への適応 | 4,742千円 |
| エ 歴史・景観を活かした美しいまちの実現 | 5,290千円 |

市民がふれあう自然共生のまちづくり 64,948千円

| | |
|-------------------------------|----------|
| ア 生き物や自然環境の保全・再生と自然のネットワークの形成 | 50,725千円 |
| イ 生物多様性の認識の社会への浸透 | 14,223千円 |

資源を活かす循環のまちづくり 18,730,156千円

| | |
|-----------------|--------------|
| ア 広報啓発の推進 | 100,015千円 |
| イ プラスチックごみ対策の推進 | 115,420千円 |
| ウ 古紙等の資源化の推進 | 522,451千円 |
| エ 食品廃棄物対策の推進 | 327,850千円 |
| オ 廃棄物の適正処理の確保 | 17,664,420千円 |

未来につなぐ脱炭素のまちづくり 751,528千円

| | |
|------------------|-----------|
| ア 温暖化対策の推進 | 161,105千円 |
| イ 家庭・業務部門の脱炭素化推進 | 446,880千円 |
| ウ 自動車部門の脱炭素化推進 | 143,543千円 |

分野横断型施策

環境の保全・創造に向けた人・地域・しくみづくり, 広域的な取組み

41,799千円

| | |
|---------------------------|----------|
| ア 環境の保全・創造に向けた人・地域・しくみづくり | 28,801千円 |
| イ 福岡から九州・アジアへ | 12,998千円 |

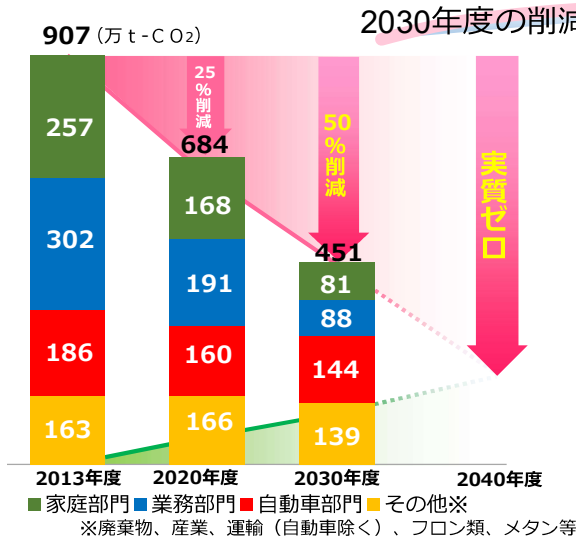
02 主な重要事業

未来につなぐ脱炭素のまちづくり



脱炭素社会の実現に向け、令和4年8月に改定した「地球温暖化対策実行計画」に基づき、省エネルギー化の推進、再生可能エネルギーの利用拡大、自動車部門の脱炭素化推進などに取り組みます。

2040年度 脱炭素社会へのチャレンジ



【重点分野】



市の独自施策で後押し

- ✓ 建築物や事業所の脱炭素化推進
- ✓ 自動車部門の脱炭素化推進
- ✓ 脱炭素型ライフスタイルの推進など

建築物や事業所の省エネ性能の向上、再エネ導入の推進

■脱炭素建築物誘導支援事業 新規 55,000千円

△CO₂ 7,960 トン/年

ビルのZEB化（Ready以上、新築・改修）、集合住宅のZEH-M化（新築）に係る設計費用を補助

補助額 (延床面積)

| | | |
|-------|----------|-------|
| ZEB | 2,000㎡未満 | 150万円 |
| | 2,000㎡以上 | 300万円 |
| ZEH-M | 2,000㎡未満 | 60万円 |
| | 2,000㎡以上 | 100万円 |

※ いずれも延床面積300㎡以上

補助枠 5,500万円



■事業所の省エネ設備導入支援事業 新規 48,000千円

△CO₂ 268 トン/年

省エネ設備(照明・空調)の更新費用を補助

補助額(上限)

機器費の1/3(100万円)



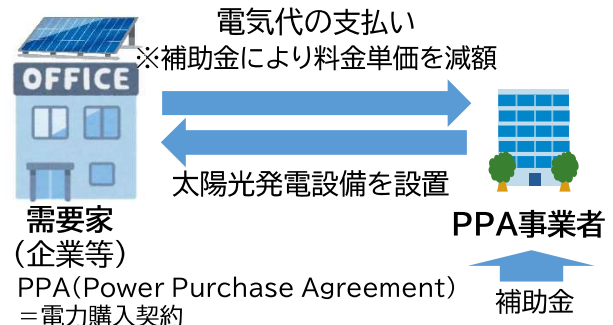
補助枠 4,000万円

■事業所のPPAによる再エネ設備導入支援事業 新規 8,000千円

△CO₂ 232 トン/年

PPAで太陽光発電設備を設置する際の設備費用を補助


| 補助額(上限) | 補助枠 |
|--------------|-------|
| 2万円/kW(40万円) | 800万円 |



自動車部門の脱炭素化推進

■次世代自動車の普及に向けた取組み 143,543千円

●電気自動車・燃料電池自動車等の購入補助


補助額 

EV 10万円 PHEV 5万円 FCV 60万円
(電気自動車) (プラグインハイブリッド自動車) (燃料電池自動車)

さらに!!!


自宅の再生可能エネルギー由来電力で充電を行うEVは補助額に**5万円加算!!**

新規

補助枠 

2,875万円 ▶ **拡充** 5,375万円

【関連事業】

法人を対象としたFCV購入補助
 (10台分 600万円) 

●充電設備設置補助

補助額 

急速充電 上限100万円/基
 普通充電 上限100万円/施設
 ※集合住宅向け(1基あたり20万円)

新規

補助枠 

急速・普通充電 2,000万円

●市有施設への急速充電設備設置 **拡充**

市有施設に急速充電設備を5箇所新設!

●FCパッカー車の導入 **新規**

家庭ごみ収集にFCパッカー車(1台)を導入

【関連事業】FC給食配送車(2台)の導入、FC救急車(1台)の実証

△CO₂
16
ト/年



脱炭素型ライフスタイルの推進

■住宅用エネルギーシステムの導入補助 311,293千円

△CO₂
1,239
ト/年

自家消費型の住宅用エネルギーシステムの普及のため、導入費用を補助

補助額(上限)

太陽光発電システム:2万円/kW
 (集合住宅60万円、戸建住宅10万円) **拡充**

蓄電池:40万円 V2Hシステム:20万円 他

補助枠 


2億3,250万円 ▶ **拡充** 2億6,950万円

■ECOチャレンジ応援事業 12,925千円

△CO₂
212
ト/年

市民の脱炭素行動に対してポイント(交通系ICカードポイント)を付与

エコアクションメニュー **拡充**

食品ロスの削減や地産地消の推進など新規メニューを追加 

募集世帯

2,000世帯 

ポイント付与数

年間上限5,000ポイント/世帯
 さらに、省エネ家電購入に10,000ポイント/先着150世帯

【参考】令和5年度当初予算における市事業全体での温室効果ガス(CO₂)削減効果

年間約20.1万トンのCO₂の削減効果

森林面積 **約3.9万ha** のCO₂吸収量に相当
 (福岡市域面積約3.4万haの約**1.1倍**)



①再生可能エネルギーの利用

- ・バイオマス発電(清掃工場、水処理センター)
- ・市有施設における再エネ由来電力の利用
- ・市有施設への太陽光発電設置 など

②省エネルギーの推進

- ・脱炭素建築物誘導支援
- ・市有施設の省エネ改修、照明LED化 など

③脱ガソリンへの転換

- ・次世代自動車の普及に向けた支援 など

④その他の取組み

- ・水素リーダー都市プロジェクトの推進
- ・木質化の推進 など

資源を活かす循環のまちづくり



「循環のまち・ふくおか推進プラン」に基づき、発生抑制と再使用の2 Rに重点をおいた取組みを推進するとともに、プラスチックごみ、古紙、食品廃棄物を重点3品目と位置付け、更なるごみ減量・リサイクルの推進に取り組みます。

プラスチックのリサイクル体制構築に向けた取組み

■プラスチックごみの分別収集導入に向けた取組み 58,397千円

プラスチック回収モデル事業

プラスチックごみの分別収集導入に向け課題を検証するため、**新規**新たに戸別収集モデル事業を実施

【戸別収集モデル事業概要】

- 回収方法** モデル地区においてプラスチックごみの戸別収集を実施
- 収集品目** 全てのプラスチック(容器包装プラスチックと製品プラスチック)
- 実施期間** 3か月間



分別収集後のリサイクル体制の確立に向けた検討 **新規**

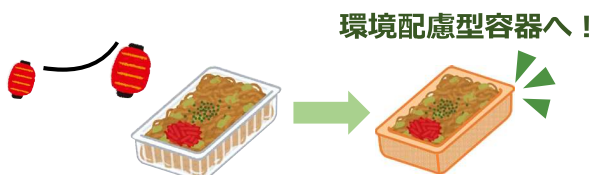
民間事業者に対して、市と連携したリサイクルを行う意向等を調査し、調査結果を踏まえ整備方針を検討

その他プラスチックに関する取組み

■ワンウェイプラスチック削減の啓発 500千円

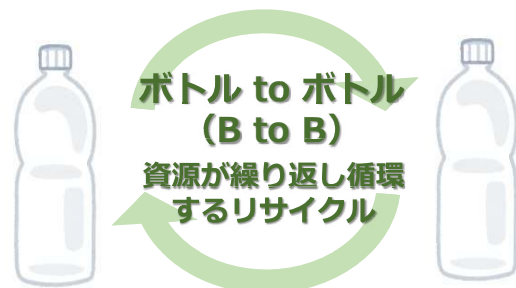
地域等のイベントで環境配慮型容器を活用 **新規**

地域等のイベントにおいて環境に配慮した容器を活用し、ワンウェイプラスチック削減を啓発



■ボトルtoボトルリサイクルの試行実施 **拡充**

市が回収した全ての使用済みペットボトルを対象に、ボトルtoボトルリサイクルを実施



食品廃棄物対策の取組み

■家庭から出る生ごみの資源化推進 9,657千円

生ごみ堆肥化容器の購入補助 新規

補助額(上限)

生ごみ堆肥化容器 2,500円
 電動生ごみ処理機 (乾燥式を除く) 2万円

生ごみ堆肥の活用 新規

- ・使いきれない生ごみ堆肥を回収し花や緑づくりの団体につなぐ
- ・作り方・使い方について講座を実施



■福岡エコ運動協力店特設ホームページ開設 5,640千円 拡充

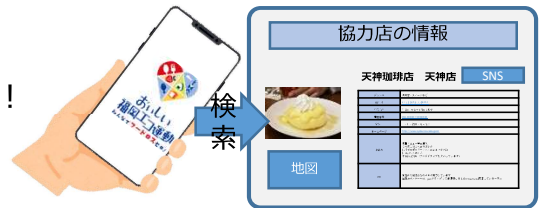
食品ロス削減を積極的に取組む「福岡エコ運動協力店」の特設ホームページを開設

(協力店)

HP内で店独自の取組みを直接PRすることができる！

(市民)

協力店を簡単に検索でき、「食品ロス削減」を実践



協力店をスマホやPCから簡単検索

古紙資源化に向けた取組み

■大学等と連携した雑がみ回収促進袋の配布による啓発 1,281千円 新規

リサイクル可能な雑がみの認知度を向上し、古紙の資源化を推進

- ・学生主体の古紙回収活動にあわせた雑がみ回収促進袋の配布
- ・大学等での出前講座などで雑がみリサイクルを啓発



市民がふれあう自然共生のまちづくり

生物多様性ふくおか戦略の推進

■森の恵み体験活動 5,325千円 拡充

「森里川海のつながり体験活動」の実施

森里川海のつながりの大切さを学び、体験する連続講座を実施。環境学習等で活用できるよう講座の様子をもとに啓発動画を制作。

体験活動



森の役割や恵みを学ぶ



里山管理の重要性・川の役割などを学ぶ



博多湾の恵みを知る連続講座のまとめ

動画制作



- 生物多様性について知る
- 森里川海のそれぞれの役割やつながりを学ぶ
- 生物多様性を守るためにできることを知る

啓発に活用



学習教材等での活用

生物多様性の理解が深まり、保全行動の実践につながる！

